

【自己紹介】

松本明子（まつもと あきこ）

岐阜県から来ました。

元々高校ではデザインの勉強で木工をしていましたが、仕事は接客業や事務をしていました。

一昨年、岐阜県の飛騨高山にある木工芸術スクールで木工家具の勉強を経て、再び木工の道へ。まだまだ駆け出し、伐採や製材に関しては専門用語も分かりません。更にろくろも元々やっているわけではなかったので、いろいろ初めてづくしです。

楽しむ事をモットーに、SHIZQ プロジェクトで木地師修行がんばります。

【目的・目標】

木工をやりたい、という意志で来たので目的は達成しています。

私にとって目標は恩返しのようなものだと考えています。楽しむことをモットーに、まずは木地師を目指すために頑張りたいです。

そして、その時頑張ったことや知識・経験を次の人に教えるために、教えられるだけのものを身につけたいです。そういう循環が、お世話になった人や町への恩返しになると思って、ちゃんと毎日を過ごしていきたいです。

【今年度の取り組み】

4月～5月 神山町や職場、ろくろへの理解度を高める。

6月～9月 初めての製造(ロックグラス)。及びその研鑽。

10月～11月 製造のレベルアップ。タンブラーの製造、及びその研鑽。

12月～1月 鍛冶作業へ移行。刃物の打ち直し、研ぎ。

2月～3月 鍛冶作業の反復練習、製造の繰り返し。

その間に伐採や製材など年に一度の大イベントや、山改善事業で水源滋養力を取り戻す活動をしました。

【次年度以降の展望】

- ・鍛冶と製造を繰り返し反復練習して、切れる道具作りを目指す。
- ・去年取得した資格やと経験等を一旦頭に落とし込んで、伐採や製材、普段の作業に活かす。
- ・作れる器の形を増やす。
- ・山改善事業で水源滋養力を取り戻す活動をする。

